

会議名	第17回多摩市地域公共交通会議		
開催日時	令和7年2月4日(火)午後2時30分～		
開催場所	永山公民館ベルブホール		
会議次第			
議事	(1) 地域別意見交換会の開催結果について (2) アンケート調査実施計画(案)について		
報告	(1) 多摩市地域公共交通会議設置要綱の改正について (2) 令和7年度の会議日程について		
出欠席(敬称略)			
(1) 出席委員・19名(氏名()内は代理出席者の氏名)			
No.	職名	氏名	協議会構成委員
1	会長	陰山 峰子	多摩市 副市長
2	副会長	吉川 徹	東京都立大学 都市環境科学研究科建築学域教授
3	委員	竹村 友晴 (岡村 小鉄)	多摩都市モノレール株式会社 総務部課長(総務.広報.DX担当)
4	委員	佐藤 勝太	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部計画担当課長
5	委員	三浦 裕介	京王電鉄バス株式会社 運輸営業部乗合事業担当課長
6	委員	鈴木 健一	飛鳥交通ニュータウン株式会社 東京・神奈川地区担当 営業部長
7	委員	山崎 龍男	小田急交通南多摩株式会社 本社営業所取締役所長
8	委員	小野 賢治 (石井 正己)	京王自動車株式会社 運輸事業本部運輸事業本部長
9	委員	富樫 秀樹	一般社団法人東京バス協会 乗合業務部長
10	委員	小池 毅 (伊藤 和広)	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会 業務部長
11	委員	小林 康雄	多摩市視覚障害者福祉協会 理事
12	委員	小林 義治	多摩市身体障害者福祉協会 理事長
13	委員	大石 欣也	多摩市聴覚障害者協会 福祉対策部長
14	委員	中村 一雄	多摩市自治連合会 総務委員・自治対策委員
15	委員	横溝 輝昭	京王バス労働組合 多摩支部 支部長
16	委員	菅野 博明	飛鳥交通ニュータウン労働組合 執行委員
17	委員	塚原 輝浩	東京都南多摩東部建設事務所 管理課長
18	委員	山下 宏	警視庁多摩中央警察署 交通課長
19	委員	佐藤 稔	多摩市 都市整備部長
(2) 欠席委員・・・8名			
(3) 傍聴者・・・1名			
(4) 事務局・・・4名(多摩市都市整備部交通対策担当課長・道路交通課交通係) 2名(株式会社ケー・シー・エス)			

1 開会

事務局が配布資料の確認を行った。

2 会長挨拶

会長が開会の挨拶を行った。

3 委員より近況報告

出席委員より、それぞれ近況報告があった。

○竹村（代理岡村）委員

- ・ 当社の輸送実績が毎月約 4%増加しており、コロナ前の約 95%まで回復見込み。
- ・ 昨年度は中央大学法学部の一部移転で通学定期が減少したが、今年は通学定期が大幅に増加している。
- ・ 通勤定期の伸びは鈍化しており、働き方の変化を実感している。
- ・ 25 周年記念イベント（多摩モノ祭り、夜景列車運行など）を実施している。
- ・ 多摩センター駅のトイレ改修工事が進行中で、完了間近である。

○佐藤（勝）委員

- ・ 運行状況はコロナ前の約 82～83%に回復している。
- ・ 乗務員不足が深刻な状況である。
- ・ 12 月 16 日にダイヤ改正を実施し、今後も各自治体と協議して持続可能な交通ネットワークの構築に努める。

○三浦委員

- ・ 利用者数はコロナ前の約 85%に回復しているが、それ以上の回復は見込みにくい。
- ・ 9 月に運賃改定を実施し、利用者への影響は限定的であると認識している。
- ・ 乗務員不足の影響から、昨年末にインドやネパールで採用活動を実施中である。
- ・ 自動運転実証実験を実施し、システムの精度向上を実感する一方、路上駐車車両などの課題も存在している。

○鈴木委員

- ・ 乗務員不足が大きな課題で、昨年は乗務員が大幅に減少したが、応募は回復傾向にある。
- ・ コロナの影響で乗務シフトが前倒しになり、深夜タクシーが不足している。
- ・ 日本版ライドシェアを活用し、深夜稼働の確保に取り組んでいる。
- ・ 健康起因事故防止のため、全乗務員への健康診断実施などの対策を講じている。

○山崎委員

- ・ 乗務員不足が大きな影響を与えており、女性やパートタイム乗務員の採用を進めているが、採用は依然困難である。
- ・ 根本的な乗務員不足の解消が急務であると認識している。

○小野（代理石井）委員

- ・ コロナによる乗務員の減少分は少しずつ補充しているが、未だコロナ前の水準には戻っていない。日中の供給は回復しているが、夜間のタクシー利用は依然厳しい状況である。

- ・多摩地域は、タクシーが過剰であると指摘があるが、タクシー事業者としてはその認識はない。

○富樫委員

- ・バス利用はコロナ前の約8割～9割に回復しているが、特に夜間の利用は大幅に減少。
- ・乗務員不足の深刻さから、過去3年間新規採用がほぼ行われず、中途採用中心で補充している。
- ・今後、外国人採用や路線の再編、割引運賃の導入などで対策を講じる必要があると考えている。

○小池（代理伊藤）委員

- ・日本版ライドシェア制度を活用し、タクシー不足の解消に取り組んでいる。
- ・技術革新によりタクシー業界は大きく進化しており、今後も全力で取り組む方針である。

○中村委員

- ・地域公共交通会議を通して、多摩市の住民（自治会・管理組合）の意見を行政に伝えていきたい。

○小林（康）委員

- ・人手不足の話があるが、ガイドヘルパーも同様に不足しており、外出時における問題となっている。
- ・障害者が安心して外出できるよう、今後も交通支援を求めていく。

○小林（義）委員

- ・障害者事業所「アートひまわり」の利用者の通勤支援で、従来の委託サービスに課題が生じ、今後の対応が急務。
- ・障害者の働き手不足や健康面の不安など、解決すべき大きな課題がある。

○佐藤（稔）委員

- ・次期交通マスタープランの策定にあたって、多摩ニュータウン再生、特に永山駅周辺や多摩センター駅周辺の街づくりと連携した交通インフラ整備（駅前広場、バスロータリー、自動運転など）を推進していきたい。

○山下委員

- ・多摩市内では昨年、交通事故の死亡者が発生せず、人身事故や怪我の件数も減少した。
- ・安全で安心な道路環境の構築に向け、今後も全力で取り組む。

○塚原委員

- ・道路の維持・補修に努めており、既存道路施設の老朽化（枝の落下等）に懸念を抱いている。
- ・日常の利用で感じた老朽化の兆候について、早期報告をお願いしたい。

○菅野委員

- ・現場の従業員の定着率向上および長期雇用の促進に向け、労働組合として会社との交渉を行っている。

○横溝委員

- ・コロナ禍で採用活動を行ったが、転職後に元の職場に戻るケースや高齢化による1日の乗務時間の厳しさが課題である。
- ・一日の拘束時間短縮や深夜便の減便を会社に要求し、収入向上を目指す必要性を訴えている。

○大石委員

- ・駅員不足や無人改札など、機械化が進む中で聴覚障害者が困難な状況にある。
- ・バス便の減少や手話を理解できる人材の育成など、機械化進展に伴う課題解決を求めている。

○吉川委員

- ・調布駅や姫路駅などでは、多機能な駅前デザインが進んでおり、多様な交通モードが提供されている。駅前を人が集まる場所として整備する案もある。人が集まらなると公共交通も使われないため、参考にしてほしい。
- ・また、多摩市では立地適正化計画の策定を進めているところである。公共交通との連動をするようにしてほしい。

4 議事

(1) 地域別意見交換会の開催結果について

○事務局

- ・昨年11月にワークショップ形式の公共交通に関する意見交換会を開催したことを報告した。

○株式会社ケー・シー・エス

- ・意見交換会当日の詳細について説明した。

・(質疑なし)

(2) アンケート調査実施計画(案)について

○事務局

- ・今後、各種アンケート調査を実施することを説明した。

○株式会社ケー・シー・エス

- ・アンケートの調査計画及び設問の詳細について説明した。

質疑応答

○横溝委員

- ・中高生アンケートの対象者は、多摩市内に限らず、多摩センター駅・永山駅周辺の学校も含められないか。

○事務局から回答

- ・現状では、市内の学校を対象にしているが、事務局で検討させていただく。

○吉川委員

- ・中高生アンケートについて、私立学校は対象としないのか。

- ・また、ミニバスアンケートについて、支払い手段の設問がないので追加できないか。以前、シルバーパスの利用者が把握出来ないという議論をしたことがある。シルバーパスの利用率を把握する為にも支払い手段を聞くべきではないか。

○事務局から回答

- ・ご指摘の内容について、事務局で検討させていただく。

○佐藤（勝）委員

- ・市民アンケート調査について、問 30 が問 29 の続きなのかが分かりにくいのではないか。

○事務局から回答

- ・ご指摘を踏まえて、修正する。

○中村委員

- ・調査対象者の抽出はどのようにしているのか。

○事務局から回答

- ・全人口の縮図となるように無作為抽出している。

○大石委員

- ・調査対象者は障がい者も含まれているのか。
- ・点字用のアンケート等は準備する予定なのか。高齢者、障がい者の方にも配慮できないか。

○事務局から回答

- ・特段、健常者や障がい者の区別をせずに、無作為抽出している。
- ・点字など回答方法に関しては、事務局内で検討をする。

○吉川委員

- ・市民アンケートについて、「買回品」は比較的わかりにくい言葉であるため、注釈を入れた方がよいのではないか。
- ・問 19 の病院に医院は含まないのか。医院・病院と示した方がよいのではないか。

○事務局から回答

- ・ご指摘を踏まえて、修正する。

○横溝委員

- ・路線バスのところに、あったら便利な路線の設問も含むと参考になるのではないか。

○事務局から回答

- ・ご指摘を踏まえて、設問を追加する。

○吉川委員

- ・「バスロータリー」という表現を「駅前バス停」にしてはどうか。

○事務局から回答

- ・ご指摘を踏まえて、修正する。

○佐藤（勝）委員

- ・今後の様々な交通モードやサービスを考えていく上で、スマートフォンの利用状況を入れた方がよいのではないか。
- ・アンケートに回答する時は、直接記入するのか、別の回答用紙があるのか。
- ・その他の選択肢のところ全てしっかり書けるようにしてはどうか。
- ・分岐表記（問〇へ）をもう少し分かりやすくできないか。

○事務局から回答

- ・アンケートの回答記入は、直接記入し、返信用封筒に入れる形になっている。
- ・その他は、ご指摘を踏まえて。修正する。

○小野（代理石井）委員

- ・市民アンケートの問 54 の選択肢「捕まらない」に対して、朝・昼・夕方・夜ではなく、具体的に捕まらない時間帯と場所も聞いて欲しい。

○事務局から回答

- ・いただいた意見を基にアンケートの修正と内容を検討する。アンケート調査実施にあたり、バス事業者の方々にご協力を頂く場合があるので引き続き、よろしく願います。
- ・会議終了後の意見の反映について期限は今週末までには願います。

5 その他

事務局から「多摩市地域公共交通会議設置要綱の改正について」「令和7年度の会議日程について」報告を行った。

三浦委員から「自動運転バス実証実験について」報告を行った。

6 閉会

以上を以って全ての予定を終了したため、会長より要点録の署名について横溝委員と佐藤（稔）委員が指名され、会議を終了した。

以上